



地域発見・いきいき体験事業

お米をつくろう

平田村立小平小学校

平田村立小平小学校では、地域の専門的な知識・技能をもつ人材「ひらたの名人・達人」を講師に招き地域社会を学ぶというねらいのもと様々な体験活動を展開しています。

5月26日(木)、5年生17名が田植えの体験をしました。苗は、地元の「JA夢みなみ」様からの提供を受け、田は、地域の方からお借りし本体験活動が実現しました。

当日はJAの職員の方、地域の方の指導支援を受けながら子どもたちは泥だらけになりながらも、丁寧に、一生懸命に苗を植えていました。

10月上旬には、稲刈り、脱穀、精米を体験することが計画されています。今後も地域施設、地域人材との連携等を地域連携担当教職員の先生を中心に積極的に進めていただき、地域連携協働活動がますます活性化し、子どもたちの豊かな心、生きる力がさらに育まれることを願います。



都路灯まつり -2022- に参加しよう

田村市立都路中学校

7月11日（月）、グリーンパーク都路で生徒24名が竹灯づくりに挑戦しました。竹灯は、8月6日（土）に行われる都路灯まつりに使用されます。はじめに都路町観光協会の方から、都路灯まつりの歴史等についての説明を受け、まつりを理解し思いを膨らませた後、竹灯づくりに取りかかりました。竹を準備くださった「たむら農建」の職員の方から竹灯づくりに欠かせないドリルの使い方を習い、先生方の指導のもと、それぞれがデザインした模様になるようドリルの太さを変えながら、穴をいくつも開けていきました。灯まつりはコロナの影響で、去年は竹灯を飾っての動画配信だけでしたが、今年度は是非とも観光客等を入れて実施したいと協会の方が意欲を燃やしていました。実施できれば中学生による合唱等披露も予定されています。学校が地域の方々の協力を得て活動を行い、そして地域の行事に参加する。地域連携協働活動がうまく進んでいると感じました。今後も地域人材を活用するなどし、人づくり、地域づくりが進んでいくことを期待します。



地域連携推進訪問

今年度も「地域と共にある学校」を理念とした学校と地域の連携の在り方や地域人材の活用、地域行事への参加等について具体的な事例をもとに、アドバイス等を行う地域連携推進訪問を実施しています。6月24日（金）には三春町立中妻小学校、7月5日（火）には田村市立常葉小学校に訪問させていただき、地域連携担当教職員等の先生と地域との連携の状況や今後の活動予定、困っていることなどについて話し合うことができました。今後も各学校における体験活動が充実し、地域に根ざした特色ある学校づくりがさらに推進されるよう支援を行いたいと考えております。

発行・編集 福島県教育庁県中教育事務所総務社会教育課

TEL:024-935-1488 HP: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70210a/>

